

日高市第 1 層協議体のこれまで

| 平成 29 年度 | | |
|---------------|-----------|--|
| | 日付 | 内容 |
| 第 1 回 | 12 月 26 日 | 協議体や生活支援コーディネーター（S C）の役割 開催経緯、S C の紹介、メンバー自己紹介、情報交換 |
| 第 2 回 | 2 月 5 日 | 第 1 回での情報交換であがった関心のあるテーマにグループワーク |
| 平成 30 年度 | | |
| 第 3 回 | 5 月 14 日 | 地域おたすけ隊のしくみ、たすけあいゲームでおたすけ隊体験 |
| 第 4 回 | 8 月 29 日 | 地域での見守り活動とは 「こんな見守りは嫌だ」をテーマにグループワーク |
| 第 5 回 | 11 月 12 日 | 日高市内の移動方法 移動方法の情報整理「地域が見える化」をテーマにグループワーク |
| 第 6 回 | 2 月 4 日 | 地域の居場所づくり・活動例 「地域の居場所をつくってみよう」をテーマにグループワーク |
| 平成 31 年・令和元年度 | | |
| 第 7 回 | 4 月 24 日 | 今後の協議体の進め方 みなさんからご意見をいただく |
| 第 8 回 | 5 月 21 日 | みなさんからのご意見を整理 「課題を明らかにする」 「課題を明らかにしていく過程に関係者を巻き込む」 |

| | | |
|--------|--------|---|
| | | <p>「課題を開いて、広く啓発する」</p> <p>「第1層協議体で出た話をオープンにする」</p> <p>「第2層の取組について報告を受ける」</p> |
| 第9回 | 7月3日 | 第2層SC、第1層SCからの報告スタート |
| | | ◆原点に戻って、再確認。 |
| | | ◆協議体の周知方法を検討 |
| | | ◆移動の問題に焦点をあてる |
| 第10回 | 8月28日 | 第1層協議体で目指していること (活動プログラムと支援プログラム) |
| 第11回 | 10月18日 | 三方良しの関係づくり (グループワーク) ◆関係づくりのツールはマップ |
| | 12月18日 | 4市2町合同生活支援体制整備事業協議体委員研修会参加 |
| 第12回 | 12月26日 | マップの種類などについて ◆オープンなマップ作成、マップ作成から協議体をPR |
| 第13回 | 2月14日 | マップ作りを進めるにあたって (個人ワーク) 市全域 or 日常生活圏域、対象者、内容 ◆次回3圏域の白地図にこれまでの内容を落とし込んだものを準備 そこへ足りない情報を入れる |
| 令和度2年度 | | |

| | | |
|--------|-----------|---|
| 第 14 回 | 10 月 2 日 | <p>コロナ禍での生活や活動のアンケート実施</p> <p>アンケート集計の共有</p> <p>「コロナ禍でやってきたこと」「どのように集まれるか」をテーマに部屋を分散してグループワーク</p> <p>分散した部屋と部屋を ZOOM でつなげオンラインを体験しながら発表</p> |
| 第 15 回 | 11 月 19 日 | QR コードを活用したマップについて |

※新型コロナウイルス感染症対策の為、12 月、2 月の協議体は中止